

## 1：今年度の iPad の活用目標と活用状況

### 【活用目標】

(1) 文字を書くことに苦手意識をもつ児童が、ipad を使用することで、楽しみながら書き取りを行うことができるようになる。

(2) 自閉的傾向のある児童が、ipad をコミュニケーションの手段として活用できるようになる。

### 【活用状況】

(1) 文字の書き取りは、アプリ「モジルート」が有効であり、楽しみながら平仮名や数字の学習を行うことができている。

漢字書き取りアプリも使用しはじめているが、「モジルート」のような楽しい仕掛けがないため、興味をあまり示さない。

児童が興味をもてる漢字学習アプリを探したい。

また今後は、作文を書かせるときにも活用することを検討している。

頭では考えが浮かんでいても、書くことが苦手なため、全てを表現しきれない児童には、まず ipad で文章を作成させる。

文章がまとまったら、それを作文用紙やノートに、自分のペースで写させる。

(2) 自閉的傾向のある児童には、現在は「しゃぼん玉」「うたえほん」などの、タッチして楽しめるアプリを使用しながら、ipad に対する興味を高めているところである。

まだ、アプリ自体をコミュニケーションの手段には使用していないが、

「貸してください」

「やりたい」

「やりたくないです」

などの表現を使えるようになってきている。

また、順番を待つ、時間になったら終わりにするなどのルールも身につつつある。

## 2：現在活用しているアプリケーション（頻度の高いもの）

「モジルート」

楽しみながら文字の書き取りの学習ができる。

このような形の漢字学習アプリがあったら是非活用したい。

「しゃぼん玉」

「いないいないばあ」

「うたえほん」

「やってみよう」

タッチすることで絵が動いたり変化したりする。

ipad への導入のほか、リラックスタイムにも利用している。